

序 文 目 次  
は し が き

第一章 北陸鉄道労組は内灘でなにを学んだか……………一

一、「内灘」までの北陸鉄道労組……………一

(1) 御用組合から職員組合へ……………二

(2) ドッジ・ライン下の北鉄労組……………四

(3) 大衆闘争への萌芽……………七

二、内灘闘争の教訓と経験……………一七

(1) 内灘闘争のあらまし……………一七

(2) 闘いの教訓……………二二

三、浜と職場は結びついたか……………三三

(1) 「軍需物資輸送拒否」の決議……………三三

(2) 「内灘よりも職場を」の声起る……………三七

四、「内灘」前哨戦、県民統一選挙とその教訓……………四七

(1) 統一選挙の態勢整う……………四七

(2) 選挙闘争の教訓……………五七

第二章 労働者のものとして闘われた協約……………五五

——大衆的立案と交渉の進め方——

一、闘争経過のあらまし……………六六

闘争開始の状況——立案——交渉——闘争の盛り上げ

二、協約のスタイル……………六九

できるだけ詳細に——附帯協定と解釈例規

三、交渉上の障害克服について……………七二

交渉に有利な対比表——面子や原則論に拘泥するな——資料、実例が交渉をリードする

四、どうして闘争を盛り上げたか……………七六

対立点を一つ一つスローガンに——労資の主張を金額で明示——職場オルグ、職場常会——

宣伝に懸賞問題

五、今後の協約闘争の諸問題……………一〇五

規定事項、規定の仕方を統一せよ——各地連に協約指導者を——力に合った協約案——協約の統一化と組織の単一化——合理化闘争即協約闘争

### 第三章 内灘以後の苦悩と問題点……………二二

- 一、交渉権をめぐる八月闘争……………二三
- 二、人員整理反対で職制と共闘……………三三
- 三、十九回目のストライキを前にして……………三三
- 四、大衆と共に生きる闘い……………三八

### 第四章 幹部闘争から大衆闘争へ……………二六

- 一、MSA下の職場とその要求……………二六
- 二、幹部請負闘争とその欠陥……………二七
- 三、大衆闘争への基本方向……………二八
- 四、大衆討議をいかに進め、要求をどうして引き出すか……………二九
- 五、職場闘争をどう発展させるか……………三〇
- 六、大衆闘争における指導者、幹部の役割……………三一
- 七、闘争の批判と総結……………三八

むすび……………三五

附、北鉄労組労働協約書……………三七